

慢性硬膜下血腫の血腫除去術を受けられる患者さんへ

	(手術室に入るまで)	手術当日	(帰室してから)	術後1日目	術後2日目	術後3～4日目	術後5～6日目	術後7日目～退院日
目標	・手術について理解できる。	・血圧、脈拍、体温が安定している。 ・合併症の症状、所見がない。 						・日常生活の注意点について理解できる。
治療 処置	・入院時は身長と体重の測定をします。	・体温・血圧・脈拍などの測定を行います。 ・心電図をつけます。 ・酸素が投与されている場合があります。 ・創部や頭の管の状態を確認します。 ・痛みが強い場合は医師の指示のもと、鎮痛剤の投与を行います。		・CTの結果、頭の管を抜きます。 ・心電図や酸素は終了します。 ・適宜、体温・血圧・脈拍などの測定を行います。 ・創部の状態や手足の動きなどの観察を行います。 		・1日3回、体温・血圧・脈拍などの測定を行います。 ・創部の状態や手足の動きなどの観察を行います。		・創部や頭の管が入っていた所にある鉤を医師が抜きます。
点滴	・手術の前に点滴を始めます。	・医師の指示で内服薬が再開となります。一部、中止・変更・追加などがあります。 		・点滴をしています。抗生物質の点滴が1日2回あります。 		・点滴をしています。病状に問題がなく、食事が食べられていたら、点滴が終了となります。		
内服薬	・現在内服している薬の確認を行います。	・手術後も点滴を行っています。 		・頭部CTの検査があります。ベッドでCT室まで移動します。 			 	
検査	・手術の前に採血があります。						・採血があります。 ・頭部CTの検査があります。	
リハビリ				・必要があれば、リハビリを開始します。 ・まずはどのようなリハビリをしていくのか決めるための診察があります。(月曜～金曜)		・必要に応じてリハビリがあります。		
安静度	・安静に制限はありませんが、状況に応じて制限させられる場合があります。	・手術後、頭に管が入っています。管が抜けるまでベッド上安静となります。 ・安全のため、必要に応じて管が抜けないように両手を抑制する場合があります。		・頭の管が抜ければ安静に制限はありません。初回歩行は必ず看護師が付き添います。歩行の状態を見て、安全のため移動の制限を行う場合があります。 		・安静に制限はありませんが、安全のために移動の制限を行う場合があります。		
食事	・絶飲食となります。 ・最終の食事と飲水の時間を確認させていただきます。 	・医師の許可があるまでは絶飲食です。 ・覚醒の状況などを確認しながら、初回は看護師がムセこまないか等の確認を行います。 午前の帰室：夕から食事再開になります 午後の帰室：翌朝から食事再開になります		管が抜けていない場合は看護師がベッドを起こしにいきます。 				
清潔				・シャワー浴はできません。日中に温タオルで身体を拭き、陰部は石けんで洗います。 		・シャワー浴ができます。必要に応じて介助を行います。 ・頭は力を入れずに優しく洗い、シャンプーが残らないようにきれいに流して下さい。 		
排泄	・必要に応じて、手術の前に尿の管を入れる場合があります。	・ベッド上安静ですので、オムツやベッド上用の便器で対応します。		・頭の管が抜ければ、トイレ移動が可能になります。初回は必ず看護師が付き添います。				
その他	・リストバンドを付けます。 ・医師から手術の説明があり、同意書の取得を行います。 ・手術前は、メガネ、コンタクトレンズ、時計、指輪、ヘアピン、入れ歯などは外して下さい。 ・化粧や整髪料はつけないで下さい。   						・検査の結果を医師から説明します。(日時については医師と相談になります) ・問題なければ、退院や転院について説明があります。必要に応じて、ソーシャルワーカーとの話し合いも設定します。 	